

< 導入 >

2 : 宗教としてのキリスト教

2 - 1:キリスト教の多様性と統一性

おおよその信徒数(1985年):

ローマ・カトリック教会	9億人弱
プロテスタント教会	3億5千万人
オーソドックス教会	2億人弱
その他	1億人
計(二重籍などを除いて)	14億人

2 - 2:信仰

2 - 3 : 神

1.[S - M - O]モデル: O = 「神」と呼ばれる存在(志向対象)

キリスト、三位一体

2.信仰対象(聖なるもの)の現象学:

データ/記述/類型論/構成要素/基本構造

3.ファン・デル・レーウの『宗教現象学入門』(東京大学出版会)

力

意志

形態

名称

4.ヌミノーズ(オッター):圧倒的な力(非日常的) 図式化

タブー、

5.形態化としての創造行為

「なぜなら、神について知りうる事柄は、彼らにも明らかだからです。神がそれを示されたのです。世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。」(ローマ1:19-20)

6.名称 人格的な関係、

「主の祈り」(マタイ6:9-13):「イエス・キリストの父なる神」

7.名称 力(使徒言行録19:11-20)。

8.経験 - 表象 - 観念

宗教経験	神象徴・モデル	神観念・神論
日常性	主モデル	
戦闘	主、王、盾、やぐら、避け所	審判、栄光、怒り、威厳
	父モデル	怒りの神、終末論
生産	父、牧者	赦し、愛、保護
身体	腕、足	愛の神、摂理論

9.ヒエロファニー(エリアーデ)

神が現れる:カオスからのコスモスの生成

不安 意味・形態

10.「地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして光があった」(創世記1:2-3)

11.キリスト教的生の時間秩序

一週間: 聖日(日曜日) 週日(月曜日から土曜日) 聖日(日曜日)

一年: イースター(レント 受難週 復活日)

ペンテコステ

クリスマス(アドベント イブ・降誕日 公現日)

一生:

叙階

誕生・洗礼(幼児洗礼) 堅信(信仰告白)

終油・死

終末・復活

婚姻

12.使徒信条 = キリスト教の信仰内容のエッセンス(三位一体論の枠)

我は天地の造り主、全能の神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の神の右に座したまえり、かしこより来たりて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。

アーメン

・「我は信ず」(credo)

・最古の原型を古ローマ信条とすれば起源は2世紀中頃に遡るが、今日使用される標準本文は8世紀頃までにできたといわれる。

<ブックガイド>

芦名定道 『宗教学のエッセンス』(北樹出版) 第3講のブックガイド